

SDGs勉強会の開催

年1回、全社員参加のもとSDGsの勉強会を開催しています。企業としての取り組みのほか、個人としてもSDGsに取り組む意識浸透を図っています。

ペットボトルキャップ回収

回収したキャップは、約2kgでポリオワクチン1人分となり、世界の子どもたちへと届けられます。そのほかにも再生資源として、買い物かごやボトル、プランターなどに生まれ変わります。直近の東京支社では、6.5kgのキャップを首都圏環境美化センター様へ持ち込み、受領いただきました。

使用済み切手・クオカード回収

届いた郵送物の切手を切り取って集め、「国際ソロプチミスト盛岡」へ提供し、収集業者を通じて各種ボランティア活動の支援に活用されています。日本切手は1kgあたり約600円になります。

古紙やダンボールの廃棄方法の見直し

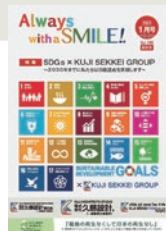
東京支社では、ちよだエコオフィス町内会を活用しています。無償のボックスをオフィス内に設置し、古紙を分別して入れるだけで回収・リサイクルされます。分別は価値ある行動としての意識浸透を図っています。また、コピー用紙は1ボックス(約20kg)360円、ダンボールは1kgあたり22円など、従来の廃棄方法に比べてコストも削減でき、作業負担の軽減にもつながっています。

資源の有効活用と地域との連携・就労支援・福祉活動

盛岡本社では、不要となったカタログなどを地域の就労施設支援団体へ提供しています。施設では、提供された資源を種類ごとに分別・整理し、リサイクル業者へ引き渡す作業を行っています。その活動が施設利用者の仕事や社会参加の機会となり、リサイクルによる収益は施設の活動資金などに活用されています。

SDGs関連特集バックナンバー

Always with a SMILE! 2021年1月の190号にて、久慈設計グループのSDGsに関する取り組みを紹介しています。以降は年に1度、SDGsの社内勉強会を実施し、意識浸透を図っています。QRコードからぜひ当社ホームページにてご覧ください。



毎月広報誌を発行し、主に当社で設計を担当した物件の紹介をしております。

QRコードからチェック!



勉強会の様子



キャップ回収箱



使用済み切手・クオカード

Always with a SMILE!

2026
9月号
Vol.258

特集

久慈設計グループ 私たちのSDGsへの取り組み

～持続可能な社会の実現へ、建築設計事務所ができる取り組み～



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

KUJI SEKKEI GROUP

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
(一級建築士事務所)

KUJI HIGASHINOH ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
(一級建築士事務所)

บริษัท คุจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO., LTD.
Bangkok



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



私たちがSDGsに取り組む理由

気候変動や自然災害、資源・エネルギー問題など、昨今私たちを取り巻く環境に変化を与えています。こうした社会課題を解決し、未来へより良い環境を引き継ぐために、国や企業だけでなく、一人ひとりの行動が求められています。

建築は多くの資源やエネルギーを使い、完成後も長い年月にわたって人々の暮らしや地域環境に関わり続けます。そのため、設計段階から環境への配慮や、長く安心して使い続けられる建築を考えることは、私たち建築設計事務所の大切な役割です。

建築を通して持続可能な社会の実現に貢献するとともに、日々の業務や身近な活動にもSDGsの考え方を取り入れています。

設計事務所としての取り組み

BIMの活用

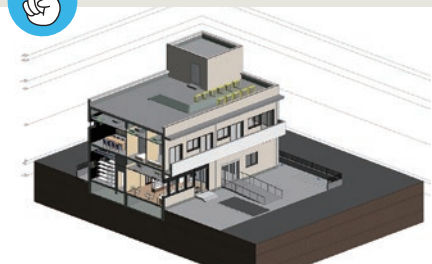
当社では、BIMを今後の設計業務における重要な技術基盤として位置づけ、基本を学ぶためのeラーニングツールの活用をはじめ、より多くの設計業務でBIMを活用できる体制づくりを進めています。BIMを活用して設計情報を一元化し、建物の性能や環境への影響を可視化することで、手戻りや資材の無駄を減らすだけでなく、省エネルギーや建物の長寿命化など、建物のライフサイクル全体を見据えた提案にもBIMを活用しています。「より良い建築をつくること」から「持続可能な社会をつくること」へ。BIMの活用を通じて、私たちはSDGsの達成に貢献していきます。

ZEBへの取り組み

建築のライフサイクル全体を見据え、省エネルギー・環境負荷低減・脱炭素に配慮した設計に取り組んでいます。当社はZEBプランナーとして、2030年度に【新築10,000㎡未満の事務所・学校等の設計において、ZEB普及率90%以上】【新築10,000㎡未満のホテル・病院等の設計において、ZEB普及率70%以上】を目標として、ZEB普及促進活動を推進しています。2025年度実績では、新築2,000㎡以上の案件においてZEB普及率70%を達成しており、今後も継続的な普及に取り組んでまいります。



【スタディ】若手社員によるBIM運用



BIMを活用した設計課題への取り組み



省エネ計算にもBIM活用

バックナンバー紹介

Always with a SMILE!
2020年12月の189号にて
ZEB Readyを達成した物件
を特集しております。

QRコードから
チェック!



建築ストックの活用と長寿命化

建築物は完成した時だけではなく、長く利用され続ける社会資産であると考えています。既存建築物の改修・更新提案、耐震補強、設備更新、長寿命化計画などを通じ、建築物の価値を維持・向上させ、持続可能な社会資本の形成に貢献しています。

地域資源を生かした建築

地域の風土・景観・文化を理解することから始まり、地域特有の天然資源を活かした設計に取り組んでいます。地熱利用などの再生可能エネルギー活用、木質化・木造化による循環型資源の利用などを通じ、脱炭素社会の実現と持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

次世代技術者の育成と技術継承

当社は、建築設計分野における人材育成と技術継承として、すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進することを目指します。

海外活動

2019年より年2回(コロナ期間を除く)、海外の教育機関への技術支援として、BIMに関する講義および交流を行っており、外国籍の方のインターシップにも対応しています。

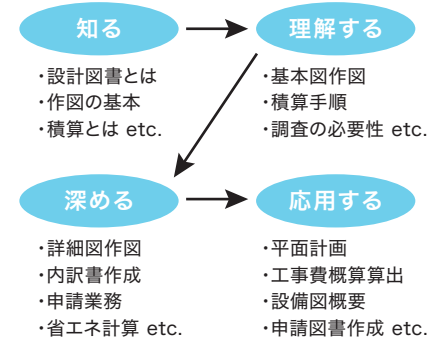
建築を知る

社内においては、入社1~3年目の社員を対象とした先輩建築士による勉強会を開催しています。加えて、社員全員に向け月1回全体会議にて、建築法規・技術課題・実績事例の共有を目的とした勉強会を実施し、知識と技術の向上を図っています。また、建築に触れる機会として年2回の施設見学会や3年に1度の研修旅行を実施し、実体験を通じた学びの場を提供しています。



2025年は大阪万博へ研修旅行

建築設計について



入社年数に応じたカリキュラム



BIM講義(ベトナム・ホーチミン工科大学にて)